

A
20

●メディア・ユニバーサルデザイン啓蒙による社会貢献

奈良県印刷工業組合

住 所	〒630-8215 奈良県奈良市東向中町6		
U R L	http://www.nara-inko.or.jp/		
設 立	昭和30年9月	主 な 業 種	印刷業
組 合 員 数	35人	出 資 金	470千円

■背景・目的

近年、弱視や色覚障害を持つ人は全国で約320万人に達しており、情報を適切に受け取れない「隠れた困り事」を抱える人たちが増加している。2016年には障害者差別解消法が施行され、全ての人が違和感を覚えることなく印刷物やWeb・メディアを見ることができるよう、視覚情報についても環境づくりに配慮が求められている。

なかでも全ての人に対して視覚情報を最適化する技術として「メディア・ユニバーサルデザイン(MUD)」が印刷業界において注目されていた。

■取組みの手法と内容

MUDは新たに生まれた技術という訳ではなく、10年以上前から全日本印刷工業組合連合会が牽引する形で全国的な普及活動が行われ、入札案件の仕様要件としてMUD対応が記載されるなどの効果が出ていたが、奈良県では対応が遅れており、印刷業界だけではなくクライアント側となる行政や企業・寺社仏閣においても認識不足・配慮意識の欠如が目立っていた。

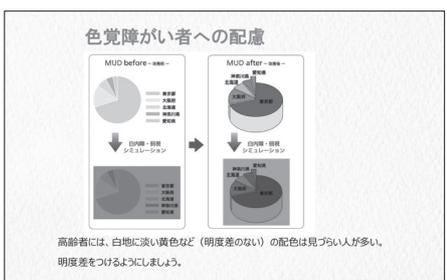
そこでMUDの啓蒙・普及活動として専門家を招聘し、専門家によるMUDについてのセミナーを開催した。ペーパーメディアにおける視認性・可読性・判読性の手法について指導を受け「MUD診断手法」を活用した“提案型営業”などの実践方法を学んだ。

またセミナー受講だけではなく、NPO法人メディア・ユニバーサルデザイン協会の「メディア・ユニバーサルデザイン教育検定」取得と、全日本印刷工業組合連合会主催「MUDコンペティション」への出展を奨励した。

セミナー参加者の内8名(1社)が資格を取得し、MUDコンペでは佳作入選するなど、組合内へは一定の効果が出ているが、より多くの組合員の資格取得を目指すべくセミナー実施を継続する。

■成果とその要因

世界的に取り組みされているSDGs指標の10番「人や国の不平等をなくそう」に該当する事業であり、セミナーには組合関係者だけではなくクライアント側である行政関係者も多数参加し、行政内部においても徐々にその必要性が認められている事が伺えた。今後はMUD対応が必須の案件が増加すると思われる。




Point! 社会の「隠れた困り事」を解消するべく、その達成度・効果が見えにくいなかでも、平等な社会の実現のために啓蒙・普及を続ける粘り強さ。